

2021年8月13日  
日本原子力発電株式会社  
東海事業本部

東海・東海第二発電所における  
新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み状況について（その4）

東海・東海第二発電所においては、これまで当社社員をはじめ発電所の安全確保及び安全性向上対策工事に従事する協力会社社員など東海・東海第二発電所で働くすべての方に新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底をお願いし、国や自治体からの要請に即した対策を講じ、保管理体制維持のため、全国の感染状況や発電所周辺の状況を勘案しながら厳しい対応を行うなど、感染拡大防止を図っています。

当社と致しましては、今般の茨城県内における急速な感染拡大や国・自治体における感染拡大防止の呼びかけ強化等を踏まえ、県外から新たに東海・東海第二発電所に入所する作業員等へのPCR検査の実施に加えて、当面の間、県外往来者への抗原検査を導入します。また、これまで準備を進めてきた新型コロナワクチンの職域接種を9月上旬から順次開始するとともに、これまでの対策を評価・分析し、感染拡大防止の実効性を高めてまいります。

なお、陽性者が発生した際には、保健所にて指定される濃厚接触者のみならず、陽性者との接触の対象者を広く捉えたPCR検査を実施することとし、これらの取り組みを通じて感染拡大防止を更に強化してまいります。

**【これまでの対策の強化】**

これまでの感染事象を詳細に確認し、感染防止対策の実効性を向上してまいります。また、9月上旬から新型コロナワクチンの職域接種を開始します。

**【更なる感染拡大防止への取り組み】**

現在の感染状況を踏まえ当面の間以下の対応を準備が整い次第、実施します。

- ・ 県外往来者への抗原検査の実施
- ・ 保健所にて指定される濃厚接触者にとどまらない陽性者との接触の可能性を広くとらえたPCR検査の実施

当社は、今後も新型コロナウイルス感染状況を注視しつつ、徹底した感染拡大防止に努めてまいります。

以上